

草津市歴史文化基本構想策定に向けた第2回ワークショップ 開催報告

開催概要

◆ 対象テーマ

テーマ2 「受け継がれる中世のころ」

【参考】草津市の歴史文化のテーマ
テーマ1 「真金吹く炎の文化」
テーマ2 「受け継がれる中世のころ」
テーマ3 「人と物の行き交う草津」

◆ 日時

平成30年9月8日（土）
13時～17時

◆ 内容（場所）

13:00～13:25 趣旨説明（常盤まちづくりセンター）
13:25～15:35 現地見学（惣社神社他）
15:45～16:50 グループワーク（常盤まちづくりセンター）

◆ 参加者（グループワーク）

21名

◆ 開催結果の概要

最初に、草津市で策定に向けた取り組みを進めている歴史文化基本構想の概要や草津市における策定の考え方、検討中の3つの歴史文化のテーマについて説明しました。その上で、第2回のワークショップで対象とするテーマ案「受け継がれる中世のころ」と構成する歴史資産（今回見学を行うもの）の概要を解説し、現地見学を行いました。

現地見学では、①惣社神社、②三大神社、③橘堂（木造三面六臂観音立像）、④吉田家住宅主屋、⑤宝光寺を巡り、各所で職員により解説を行いました。

現地見学後のグループワークでは、4つのグループに分かれて、歴史文化の3つのテーマのうち本日のテーマ「受け継がれる中世のころ」について、次の2つを論点として、参加者による活発な意見交換を行いました。

- (1) テーマと見学した歴史資産の感想
- (2) 見学した歴史資産等をどのように保存・活用していけばよいと考えられるか

(1)については、その場所の生活の一部としての祈りの文化を伝えるストーリー性をテーマに期待する声や、常盤の知られざる文化財の魅力に感動したという感想が多く見られました。また、これら貴重な歴史資産が常盤地区に集中していることを再認識したという声とともに、それらが十分に周知されていないという課題も指摘されました。

(2)については、個人による維持管理への支援、公開の機会の増加、案内板・解説・サインの整備、地元住民との協力によるPR、ウェブやSNSを利用した積極的な情報発信などの要望・意見が出されました。特に、案内板・解説・サインについては、QRコードの利用や文化財マップの作成等、具体的な内容についても意見を出し合いました。



趣旨説明



現地見学の様子



歴史資産の解説（惣社神社）



歴史資産の解説（吉田家住宅主屋）



グループワークの様子



意見集約結果の発表

(1) テーマ「受け継がれる中世のころ」と見学した文化財の感想

テーマについての感想

テーマである「中世のころ」が文化財のどのようなところに表れているのか、ストーリー性がほしい	個々の文化財と地域の方々の関わりとして（祈りの文化）を見たい
心や祈りはその場所の生活の一部であることが大切	「受け継がれる中世のころ」よりも「水辺（湖辺）の郷と息づく祈り」の方がよいのではないかと
テーマ「受け継がれる中世のころ」は具体的にどういうことか	今回の見学コース以外の文化財とのつながりも知りたい

見学した文化財の感想

豊かな文化財の集積

常盤は文化財が豊富な歴史のまちと実感	吉田家住宅の内部は観光の資産になると思う
往時をしのぶことができた	貴重な文化財も、一部の関係者以外は内容を知り得ないのが残念
文化財の宝庫と実感した	今回の見学コース以外の文化財とのつながりも知りたい
比較的狭いエリアに貴重な文化財が集積する歴史の深い地域	常盤地区には文化財が集中しているため活用の先事例にしてもよいのでは
市外化調整区域内で比較的時代の趣が感じられた	

常盤の知られざる魅力

このような機会がないとあまり行かないような場所で、知らないことばかりだった	吉田家、橘堂の中を見られてよかった
吉田家の長屋門を入った玄関前の雰囲気良かった	三大神社で灯籠の見方を聞き感動した
まちづくりに貢献してきた吉田虎之助に興味を持った	橘堂の観音立像の作り手の意気込みに感動した
橘堂での管理人さんの説明を受けてよかった	歩いて聞いて、初めてわかる不思議なまち常盤の郷

(2) 見学した文化財等の保存・活用のあり方について

保存

公開してほしいが防犯面での不安がある	宝光寺の木造薬師如来立像の今後の維持管理はどうするのか
吉田家住宅主屋の維持管理、特に修理が大変そうだった	文化財の保全・保存が不完全
維持管理費用が多く掛かりそう。どこから出ているのか	貴重な文化財を風化させないように維持しなければいけない
個人で維持管理するのは大変なので補助・支援が必要	橘堂の観音立像の湿度調節等の保存環境が気になる

保存・活用に向けた意見・検討

吉田家住宅と橘堂を市内外の人に常時公開してほしい	保存・活用について役所の専門部署を設置してはどうか	秘仏等の有形文化財の公開
文化財そのものの存在が地元民にも知られていない	各地区で地元住民を調査員等とした年表・神社一覧等を作成しては	期間限定でも公開することで、貴重な文化財に触れる機会を増やすことを望む
文化財を地域の活性化の一部にしたいが、どのような方法があるのか	より積極的な地区の取り組みへの財政支援	今の暮らしと文化財とのつながりを可視化してほしい
「秘仏」として完全保存するとともにレプリカを展示して公開する	近くにある文化資産を繋ぐストーリーが必要	
地元の方とのふれあい	文化財と景観を一体化した取り組み	

活用

商業活動（飲食・宿泊・物販店舗）

吉田家住宅主屋の活用

1日1組限定の民泊	句会、茶会や昼食をとる場として有料公開してもらう
結婚式場としての提供	庭園をライトアップして公開してはどうか
三大神社と連携して観光PR	

道路に面してベンチや公共施設を置いて、地域の方とのふれあいの場をつくる

観光ルート・イベント

文化財以外のルート上の魅力づくりも必要（休憩場所、風景スポット、食事場所等）

インフラ・施設

歩行環境

史跡観光と健康ウォークを兼ねた散策コースの設定
散策コースを設定するのに歩道を整備する必要がある

レンタサイクル

レンタサイクルを利用し、社寺をめぐる

展示・公開等の施設

常盤まちづくりセンターでビデオ等を用いて予習し、現地へレンタサイクルで行くなど活用推進
文化財センターとして一般人が見学できる施設が必要
歴史伝統館、宝物館等の文化財を公開できる施設の設置

その他活用について

最終的に活性化して何になるかも考えるべき
そうもく団子等の歴史資産を名物（特産品）として活かしてほしい

文化財の解説・案内・情報発信

解説に向けた整理

今回の見学コース以外の文化財とのつながり
有名ではない寺院や地蔵等も調べて文化財めぐりに入れたほうがよい
地区の文化財マップがない
「常盤マップ」の利活用

人材育成

地域のリーダーやリーダーを補助する人の育成
ボランティアガイドの専門知識を活用し、保存の啓発をする

地域連携企画

地元住民へのPRと関心を高めるイベントをする
3つのテーマを3期に分けた歴史キャンペーンとして、地元住民が協力したPRをする

情報発信の方法

名所旧跡をめぐる中世のロマン回廊ツアーを開催する
スタンプラリーの実施
歴史関係の広報が全くできていない
SNSを利用した情報公開で集客力が上がるのでは
寺の宝物の何年に一度のご開帳は県市のホームページで公開してはどうか
文化財の成り立ちを音声で説明する
電子メディアを使って史跡の情報を得られる工夫
史跡の説明書のブックマークを作成する

教育普及

学校と連携しての歴史学習会を開催する
市民向け歴史講座やセミナー等を開催して文化財への関心を高めていく
子どもから大人までいっしょに文化財に触れる機会を増やす

個別・具体的解説内容

文化財に興味を持ってもらえる要点をわかりやすく説明することが重要

案内板・解説サイン

各文化財の説明板が少なかったり汚れて見づらかったり、折角の価値がわからない
案内・道順等が整備されていない
QRコードを用いた案内板を整備し、内部を見られない文化財の説明に繋げる
古代遺跡についてもマップと標識を作ればどうか